



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

安心安全のまちづくりへまた一歩

株式会社セブン-イレブン・ジャパンと見守り協定

1月9日、町は、株式会社セブン-イレブン・ジャパン(以下、セブン-イレブン)と「益城町高齢者等見守り活動」に関する協定を結びました。

本町にある5店舗のセブン-イレブンは、異変があったり、支援が必要な高齢者や子どもなどを確認した場合に町へ連絡。町の迅速な対応が可能になります。

協定締結に際し、セブン-イレブン南九州ゾーンマネジャー高橋幸成たかはしゆきなりさんは、「これからも自治体が元気になる新たな取り組みを考えたい」と述べました。



協定締結式に出席した関係者一同



地域の交流の場づくり事業 もちつきの会

12月15日、木本悦津子さん(広崎1町内)を中心に、スタッフ5人で構成されている「広崎のえんがわ」により、もちつきの会が開催されました。

広崎地区を中心に、子どもから大人まで多くの人参加。快晴の中、みんなで協力して、蒸したもち米をきねでつき、でき上がった大きなお餅を小さく丸めました。子どもたちは、丸まったお餅をあんこやきな粉でお好みに味付けし、頬張っていました。

地域住民の交流を図り、助け合う場を提供したいという思いで活動しているもちつきの会は、今年も大盛況となりました。



私たち、益城町地域福祉基金を活用して交流しています

民間団体や住民組織の活動紹介

町では、益城町地域福祉基金を設置し、その運用収益を基に、ボランティア活動の促進や高齢者の保健福祉の増進などを目的とした、民間団体や住民組織などが行う創意工夫をこらした自主的な活動の支援を行っています。

その活動の中から、年末年始に行われた2つの活動を紹介します。

健康うたごえサロン



広崎5町内公民館で1月9日、健康うたごえサロンが開催されました。

山口仁義やまぐちひろよしさん(広崎5町内)を中心に、毎月1回開催されている同サロンは、嚥下障害の予防や心身の健康、仲間づくりを目的として、みんなで童謡や演歌、昭和歌謡を歌っています。

この日は、11人が参加し、声を合わせて懐かしの名曲を歌いました。

参加者の1人は、「なかなかこのように声を出す機会が無いから、サロンが毎月の楽しみ」と話しました。